

健診施設における郵送キットを用いた

HIV 検査マニュアル

健診施設における郵送キットを用いた HIV 検査マニュアル

昔は不治の病というイメージがあったエイズですが、治療の進歩によりHIV感染早期にきちんと治療を受ければ、エイズを発病することもなく、普通の生活を送ることができるようになってきました。早期発見と治療のためにHIV検査が大切です。

職場や健保組合の健康診断や人間ドックは様々な病気を見つける機会になっており、すでに各種がんの検査、肝炎ウイルス検査が広く行われています。その一方で、エイズはいまだに差別や偏見の強い病気であり、HIV検査機会の提供にあたっては、以下のような配慮が求められます。



- だれがHIV検査を受けたか職場の人に知られないようにする
- HIV検査の結果がどうであったか職場の人に知られないようにする

これらに配慮したHIV検査の提供方法の一つとして、郵送キットの活用があります。自宅などでランセットという小さな医療用針を用いて指先から微量の血液を自身で採取し、検査機関に郵送することで、検査結果をウェブサイトで見ることができサービスの中で、近年様々な場面で用いられるようになってきました。

本マニュアルでは、健診施設での郵送キットを活用したHIV検査を提供する際の運用とその際に使用できるツール、書式をまとめています。

【1】郵送キットを用いたHIV検査の流れ

健診施設での郵送キットを活用したHIV検査には、健診施設で郵送キットによるHIV検査を行う「完結型」と健診施設で郵送キットを配布し、自宅などでHIV検査を行ってもらう「配布型」があります。本マニュアルは前者の運用について紹介しています。

●受検者本人が行う作業は以下の通りです。

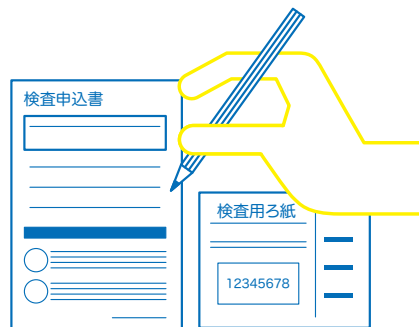
1 検査希望の申し込み



2 検査キットの受領



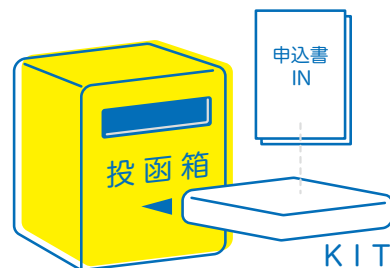
3 検査申込書の記入



4 自己採血



5 検体と検査申込書の封入と投函



●健診機関が行う作業は以下の通りです。

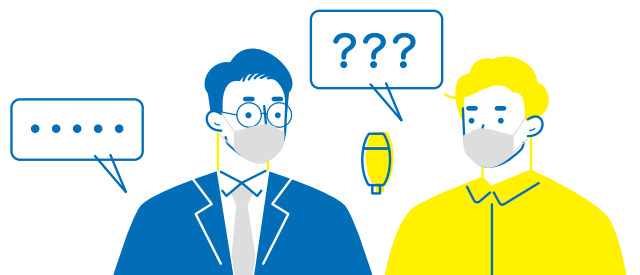
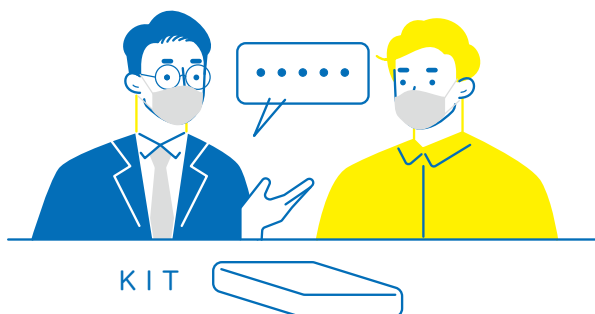
1 検査希望の申込書の配布



2 検査希望の申し込みの受付

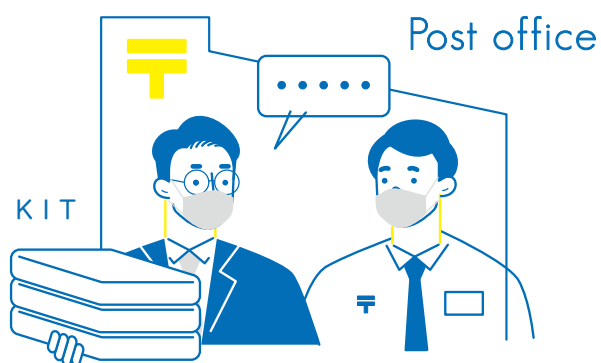


3 検査手順の説明と検査キットの配布



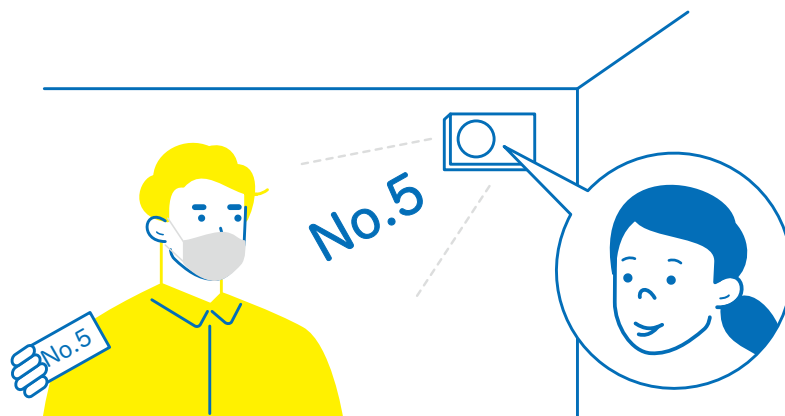
4 検査申込書の記入や自己採血のサポート

5 郵便物(検体)の回収と郵便局窓口での発送手続き



【2】郵送キットを用いたHIV検査を行う際の運用

1 受付



●職場や健保組合の健康診断や人間ドックに加えて、郵送キットを活用したHIV検査の希望があるか受検者に確認します。確認方法の一つに、検査希望の申込書を事前に配布しておき、検査当日に持参してもらう方法があります（添付資料1）。

●受検者には受付番号を付与し、呼び出しの際には名前ではなく番号で呼ぶようにします。

2 会場



●HIV検査を行う会場は他の受検者とは別にするなどプライバシーへの配慮が必要です。独立した会場を確保し、検査の説明、自己採血のサポート、検体の回収を行うスペースの確保、机やパーテーションの設置、スタッフを配備する必要があります。

●検査会場は、検査キットの配布と説明を行う受付カウンター、各受検者が検査申込書の記入と自己採血を行うブース、郵送物を投函するスペースで構成されます。検査の一連の流れを考慮した導線を設計します（添付資料2）。

3 検査スタッフ



●検査時には少なくともスタッフ1名が常駐し、補助する必要があります。具体的には、検査キットの配布と説明、検査申込書への記入や自己採血、返信用封筒への封入、投函といった各作業への補助が挙げられます。

●検査を完了した受検者に対して、HIV検査の結果は他の健診結果と別に、受検者本人が検査会社のサイトにアクセスし、確認する必要があることを付属のHIV検査説明書に基づいて説明します。

4 検査



●机を共有して自己採血をする場合、書類や検体の取り違えが発生する可能性があるため、自己採血を行うにあたり十分な広さの机を複数台配置してパーティションで分割する、もしくは一人ずつ対応します。

●必要に応じて手洗いができるように流し台やトイレがある場所を掲示します。また、机を清潔に保つために除菌シート、ティッシュやごみ箱を設置します。

●郵送検査キットには、商品説明書、検査申込書、返信用封筒、HIV検査説明書、器具取扱説明書と採血セットが入っています。

●各書類の確認、必要事項の記入、自己採血、郵送物への封入といった一連の流れがスムーズに行われるように受付で事前説明するとともに、自己採血スペース周辺に検査キットの使用手順を掲示します（添付資料3）。

●郵送物を投函箱に投函したら受検者本人の作業は完了です。投函箱は外から中が見えない容器にしてプライバシーに配慮します。スタッフが郵便物（検体）を回収した後、郵便局窓口で一括での発送手続きを行います。

5 検査トラブルへの対応



●迷走神経反射や出血トラブルに備えて少なくともスタッフ1名が常駐する必要があります。

●器具取扱説明書の注意事項を参考に、以下の者は検査を控えるように説明します。

- ・出血性の疾患で止血機能が低下している者
- ・特定の疾患の治療中で薬剤を内服し、止血機能が低下している者
- ・ショックアレルギーの既往や出血した場合に血の止まりにくい者

●アルコール消毒にアレルギーがある方には付属の消毒綿を使用しないようにします。

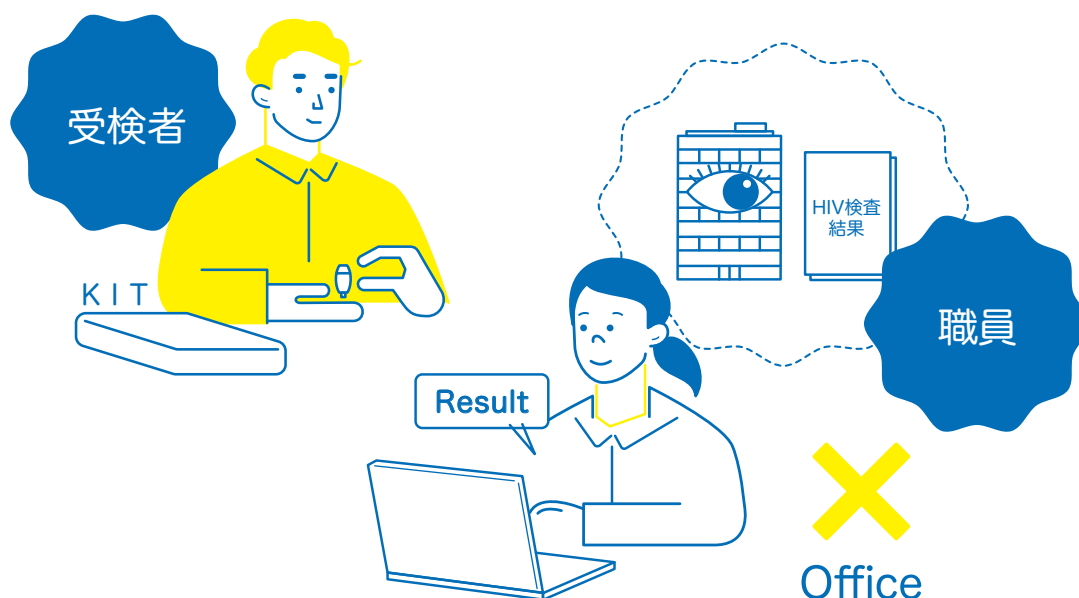
●必要な採血量が接種できなかったときは予備のランセットを使用します。

●HIV検査に関する問い合わせは検査会社の窓口に行うよう伝えます。

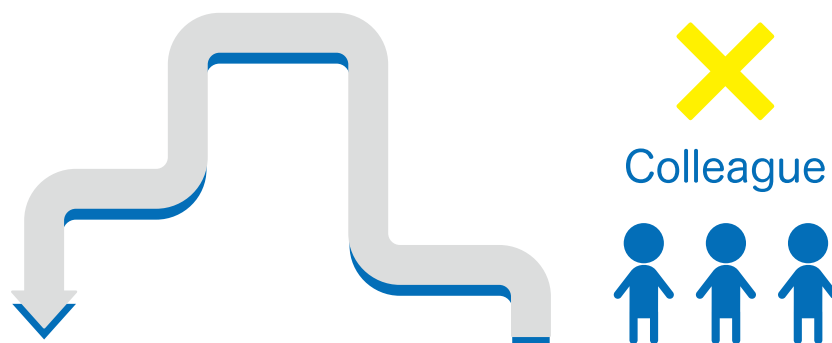
NOTE

郵送検査キットは管理医療機器等（クラスII）に該当するため、サービス提供にあたっては都道府県知事（市長又は区長）への届出（薬機法39条の3第1項）や管理者（医師、歯科医師、薬剤師等）の設置（同法39条の2第1項）が必要です。

【3】職域健診のオプションとして提供する際の留意点



- HIV検査の結果を職場や健保組合の職員が把握しないよう注意を促します。経費手続き等で受検の有無に関する情報を職場の職員が扱う場合、本情報を取扱う者の範囲をあらかじめ取り決めるなど、職場内部における適正な取扱いを定めて運用します。
- 事前に職場で教育研修を行い、職員がHIV検査の意義や方法について理解を深めた上で実施できるよう支援します。
- 同じ職場から複数の職員が一斉に健診施設で健診を受ける場合、職員間の時間的間隔を十分に確保するなどして、可能な限りHIV検査を行うタイミングがずれるように工夫します。



HIV検査を受けてみませんか？

エイズとは、HIVというウイルスの感染によっておこる病気です。HIVは性行為や血液を介して感染しますが、かなり病気が進行するまで自覚症状がでないことも多く、早期発見と治療のためにHIV検査が大事です。昔は不治の病というイメージがあったエイズですが、治療の進歩によりHIV感染早期にきちんと治療を受ければ、エイズを発病することもなく、普通の生活を送ることができるようになってい

ます。
郵送キットを利用した検査を通して、HIVに感染している可能性をスクリーニングできます。郵送キットは、ランセットという小さな医療用針を用いて指先から微量の血液を自身で採取し、検査機関に郵送することで、検査結果をウェブサイトで見ることができる匿名のサービスであり、比較的手軽に検査できることから近年急速に普及しています。

検査は任意ですが、この機会にぜひ受けてみてください。

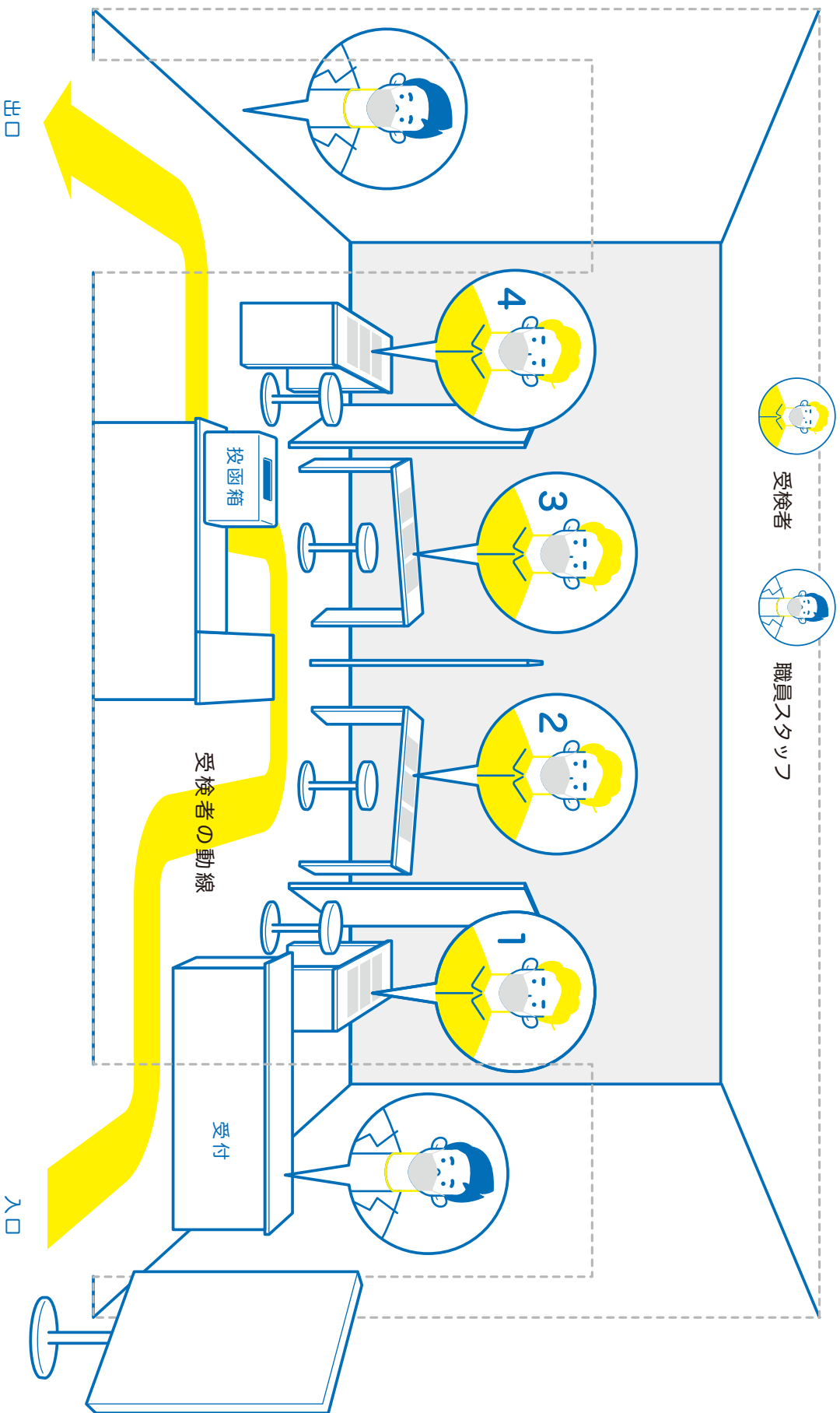
※HIV検査を希望する方のみ、

ご記入の上、一般健診受診時に受付にご提出ください。








年 月 日

氏名	
生年月日	年 月 日
住所	
電話番号	() -

検査会場のレイアウトイメージと動線



添付資料3. HIV自己検査キットの使用手順(1)

	<p>1 開封したキット全体</p>
	<p>2 検査申込書に必要事項を記入します。ここで申込ID(8ケタの予約番号)やパスワード(ご自身で決めて頂きます)を記入します。採血用紙のオモテ面にもID(上記予約番号)を記入します。</p>
	<p>3 針を刺す部分を同封されているアルコール綿で消毒します。</p>
	<p>4 ランセット針の保護キャップをねじって引っ張り、ホルダーから取り外します。</p>
	<p>5 ホルダーを指で保持し、刺す場所を選び、皮膚を張らせた状態でホルダーの先端部分を刺す場所に押し当てます。</p>
	<p>6 「カチッ」と音がするまでさらに押し付けます。</p>
<p>血玉になるまで ためる</p> 	<p>7 指先に血をためます。血玉になるまでできるだけ多くの量をためてください。血が止まりそうな場合、指先に向けて押し出すようにマッサージすると効果的です。</p>

添付資料3. HIV自己検査キットの使用手順(2)



8 出てきた血液はろ紙に染みこませます。
どんどん指の腹を押して、
血液を出してはくり返し染みこませます。



9 規定の線までろ紙に血液が染みこんだら
検査完了です。(1項目につきろ紙1本使用)



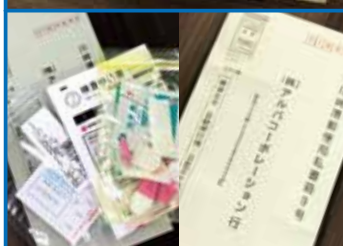
10 同封されている絆創膏を貼ります。



11 ろ紙は採血セットが入っていた袋(透明な袋)
に入れます。



12 ごみは全て黄色い袋に入れます。
(検査会社にて医療廃棄物を処理してもらうため)



13 ろ紙と検査申込書の1枚目、
ごみの入った黄色い袋をすべて封入して完了です。



2023年1月

令和4年度 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業

「職域健診機会を利用した検査機会拡大のための新たなHIV検査体制の構築に向けた研究（代表研究者：横幕能行）」

(20HB1004)

研究分担者 産業医科大学産業生態科学研究所環境疫学研究室 石丸知宏